

被害状況別紙（記載例）

被害にあわれた年月日時 (犯人に振込送金をした日時)	令和 4 年 ● 月 ● 日 午 ●時●●分ころ
被害にあわれた場所 (犯人に振込送金をした場所)	●●銀行●●支店
犯人の名前又は団体名 (犯人が名乗った名称)	●●市役所職員 ●●銀行担当者
被害にあわれた状況 (犯人が言った嘘の内容等)	○令和 4 年●月●日●時頃、●●電話に●●市役所職員を名乗る男性から電話あり。 (内容) ・あなたには医療費の還付金を受け取ることができる資格がある。 ・今年の●月、自宅に医療費の還付金手続に関する書類を送ったが、手続が未了である。 ・手続をするには送付した書類に記載した番号が必要である。 ・市役所では手続を締め切っているので、手続ができない。 ・●●銀行か●●銀行でならば手続ができるので早めに手続をしてもらいたい。 ・銀行に着いたら●●銀行のコールセンターに電話をしてもらいたい。 ・銀行の A T M 機で操作をしてもらうが、手続の方法は電話で説明する。 ・操作が終われば●色の紙が出てくる。 ・●色の紙に書かれた番号が還付金手続に必要な番号になる。 ○上記記載の日時、場所において、電話の相手方に言われるままその指示に従い、犯人の管理する預金口座へ振込手続と分からないまま、●●●●円を振り込んでしまった。
犯行行為により失われた財産の価額・価額算定の根拠	●●●、●●●円 犯人に振り込んだ金額が記載された利用明細書から算定
疎明資料 (警察に提出済みの資料については、添付を省略できます。)	犯人に振込送金した際の記録が残る利用明細書及び預金通帳の写し